

操業現場と重要機器の異常振動を監視する集中監視IoTシステム

「熟練工に依存しない生産体制の確立」と「一人当たりの生産性の向上」を目的として操業管理室に以下の2つのシステムを構築する

- ①工場内の17か所にカメラを設置し、製品を製造する全ての工程を操業管理室から誰もが監視でき、その時々状況を見て素早く対応できるようにすることで、熟練工の高齢者が退職しても操業できる体制（多能工化）にする操業現場監視システム
- ②4つの重要機器に振動計を設置し、故障すると生産性を大きく低下させる重要機器の異常を常時監視する重要機器振動監視システム

【構想図】

